

平城京から北へ・・・

歴史ロマンとともに **東山道** を歩く

-南山城の歴史ロマンとともに「山背古道」を歩く〈実践編〉-

律令国家の成立とともに、都である平城京を中心に五畿七道という行政区画に大きく区分されました。畿内の一つ山背国の南山城地方には「山陽道・山陰道」、「東山道・北陸道」、「東海道」の五つの官道が敷設されました。そして木津川右岸には、「東山道・北陸道」が通っていたとされています。その概要は、両側に立派な側溝を備えた幅約1.2mの直線道路だったようです。

今回は、シリーズ1、2の講義内容を踏まえ、城陽市に残された官道や関連施設とされる遺跡を訪ね、その歴史的意義について学ぶとともに、歴史ロマンを満喫しましょう。

1 日時 平成29年11月25日(土) 10時～16時

＜小雨決行・雨天の場合26日(日)に順延＞

2 主催 やまきん(京都府立山城勤労者福祉会館)

3 会場 JR奈良線 長池駅から新田駅までの史跡等

・集合 JR奈良線 長池駅 ・解散 JR奈良線 新田駅

4 講師 小泉裕司氏 <城陽市教育委員会 文化・スポーツ推進課 主幹>

5 資料代 1名 300円 (当日受付)

6 申込等

・定員 50名(先着順)

・申込 やまきん(府立山城勤労者福祉会館)

電話 0774-82-3639 FAX 82-3762

・締切 平成29年11月17日(金)

やまきん(府立山城勤労者福祉会館)

電話 0774-82-3639 FAX 0774-82-3762

住所 京都府綴喜郡井手町大字井手小字大塚 99-35